


が
い
て
る

こ
え
る
ん


1



桜野みねね



のあは
いつもクレアに
おみずをくれていました



だから おはなのなかで
あんしんして
ねむっていました



クレアは
のあがしてくれたのは
それだけじゃなかったことを
しりませんでした

ただ あえるのを
たのしみにしていました



Episode 01



俺の父親は
植物から
妖精を生み出す
ことができる





——そして俺は
知らなかった

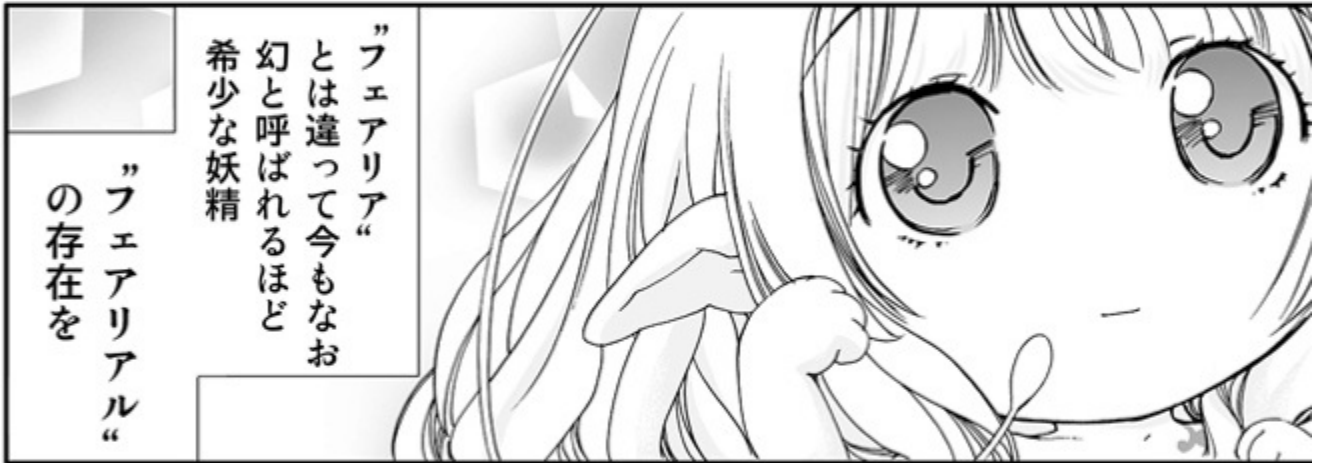


…やばい
産まれそう

は??



妖精には
2種類あることを



“フェアリア”
とは違って今もなお
幻と呼ばれるほど
希少な妖精

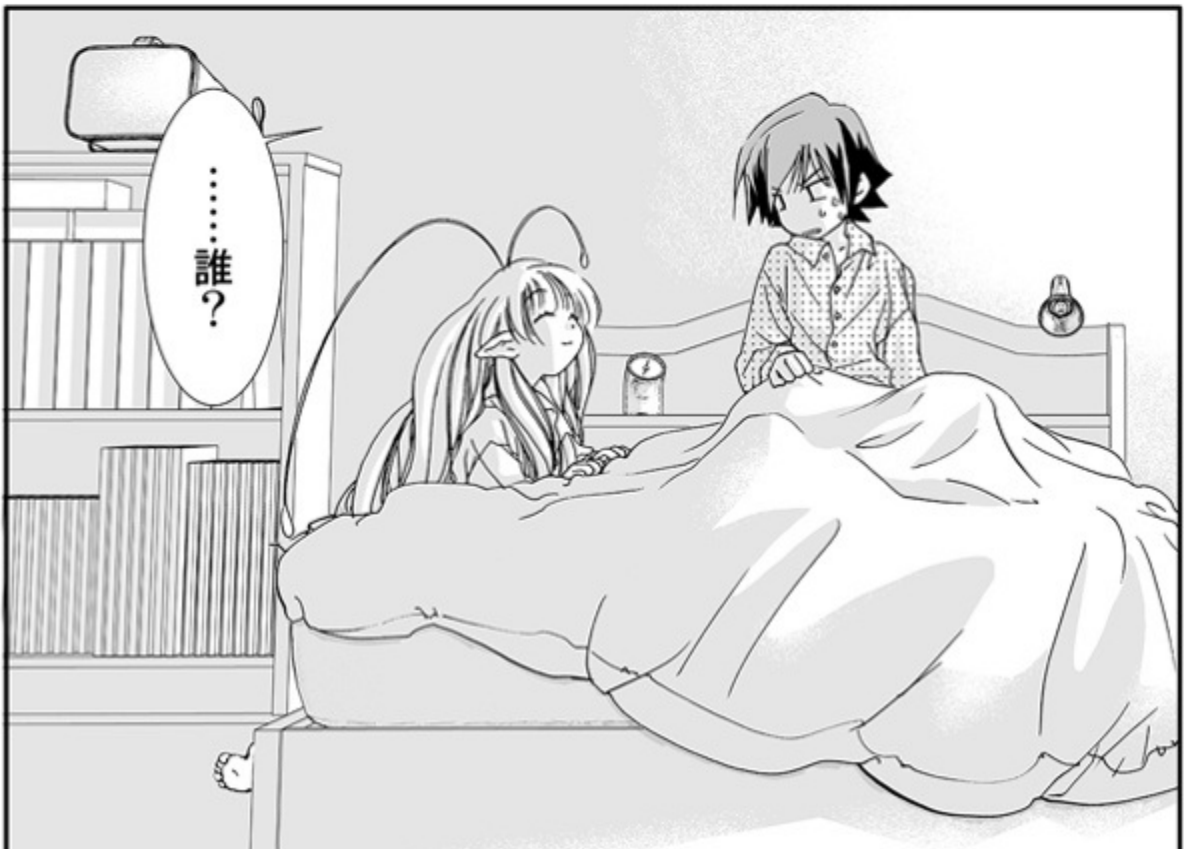
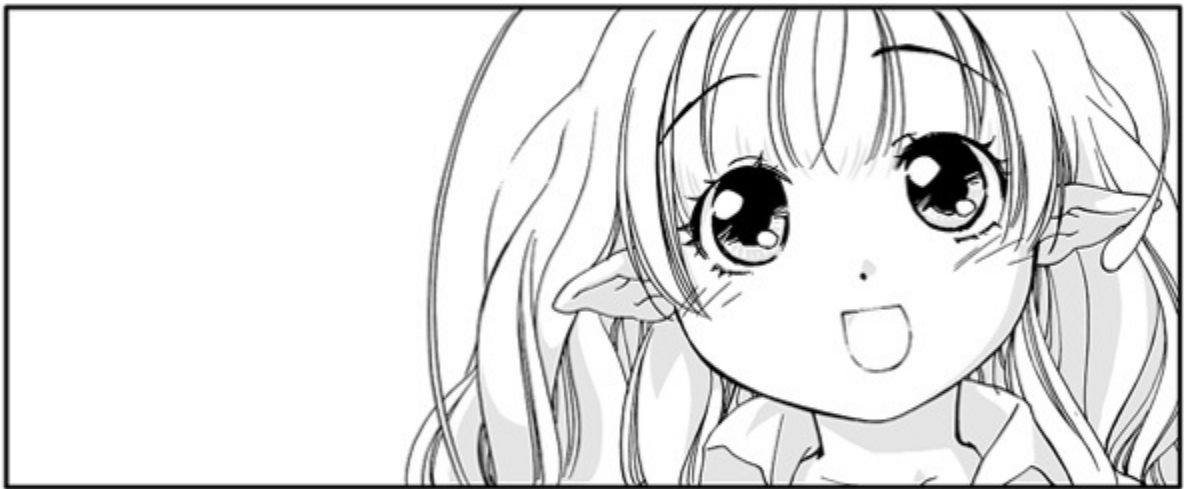
“フェアリアル”
の存在を

————そのときまでは…

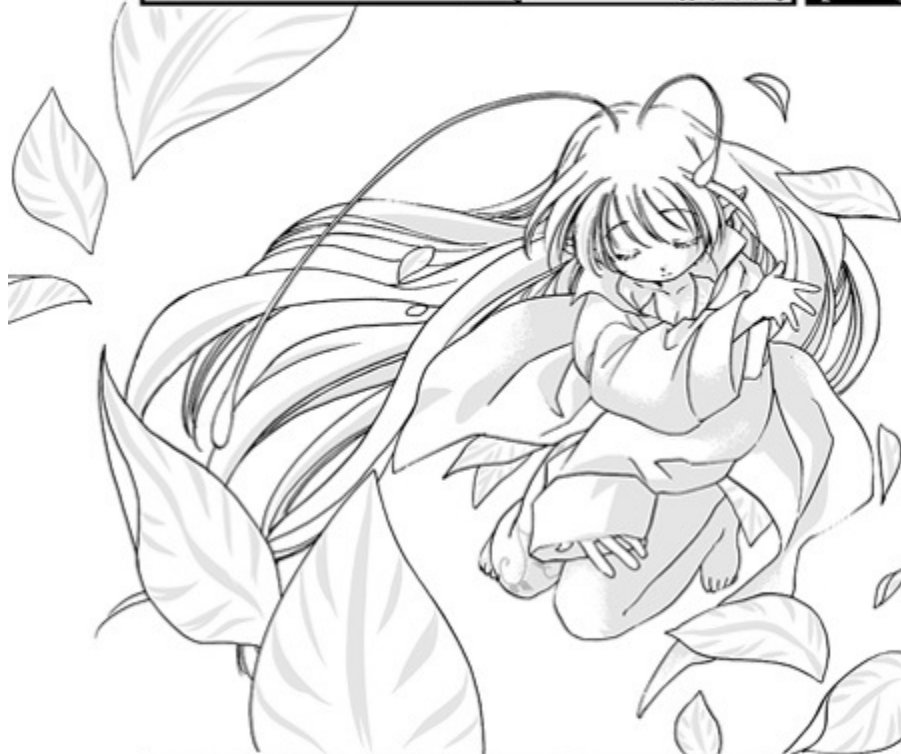


…産まれた？













妖精に興味ないし



なんだ
おまえ
その態度は!!

は??



なんだよ
いまさら怒って
んのかよ...

ちっげーよ!!



俺が言ってるのは
なに冷静に
豆について語ろうと
してんだよって
ことだ!!

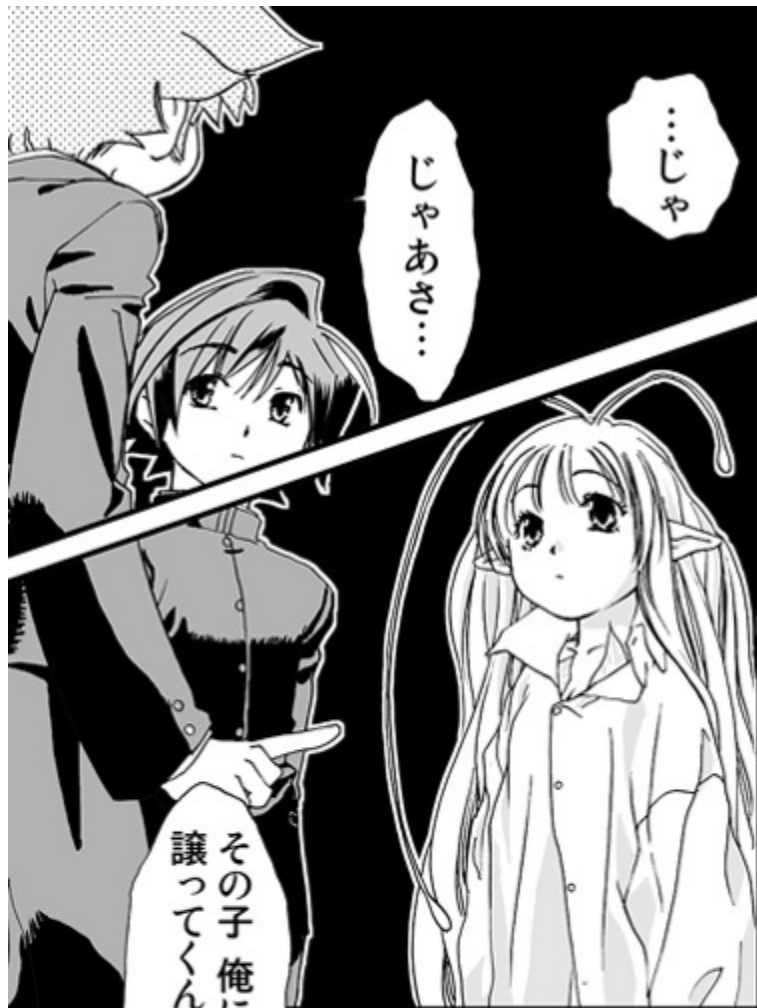
悪いかよ
こんなフェアリア
見たことねーじゃん!!
まあしゃべるのは
たまにいますけど普通
変形なんてしないし!



だいたい人間の
形してるなんて
珍すぎる!!

なんで!?!
なんでそんなに
おまえ冷静な
わけ!?!

だって俺



…じゃ

じゃあさ…

その子俺に
譲ってくんねえ？



——本当に俺は
妖精のことなんて考えたくもなかった…

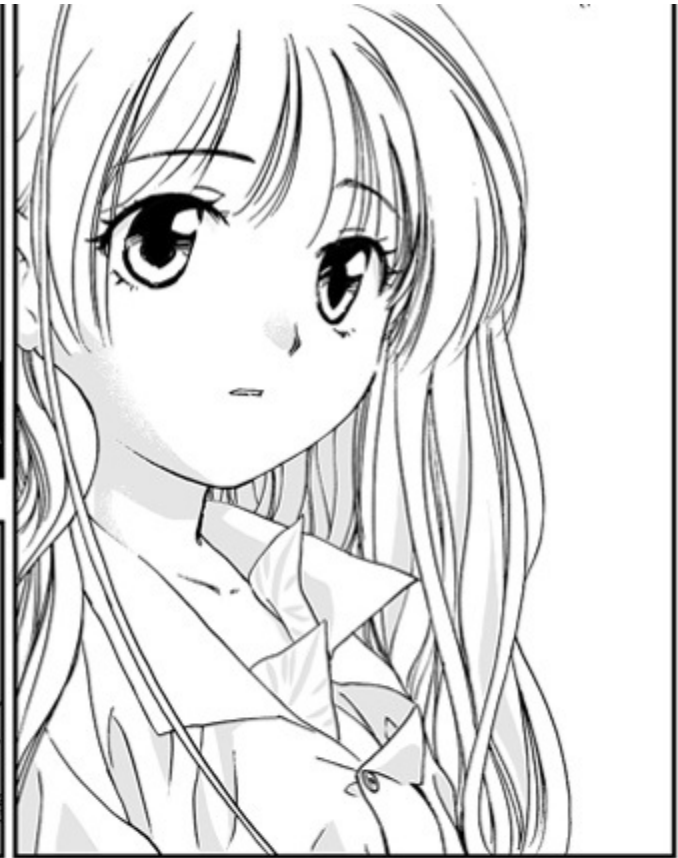


実際なんでこいつが
妖精のこと「フエアリア」
って言うのかそんなこと
すら知らなかった



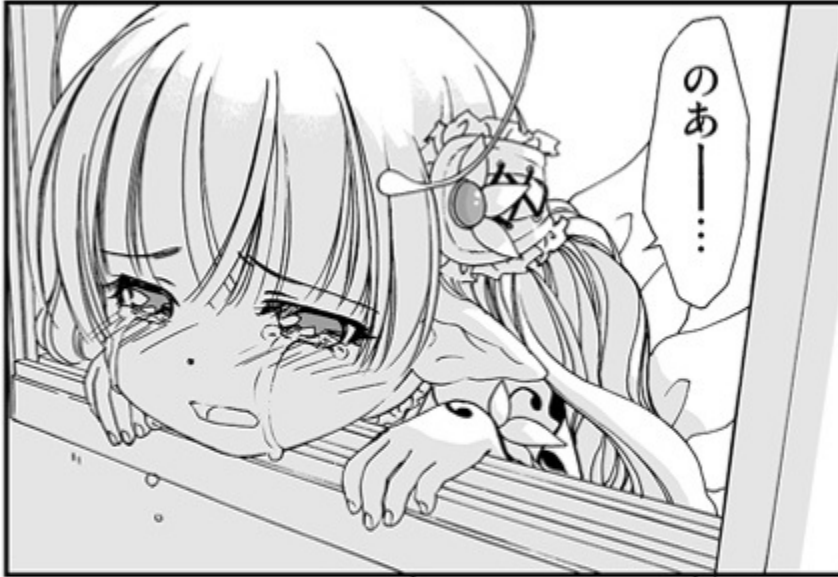
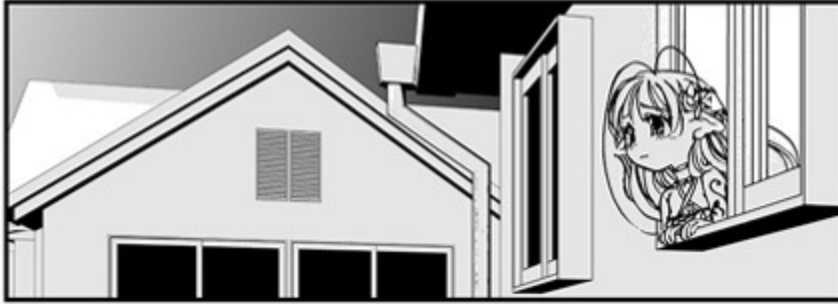
思い出したくもなかった

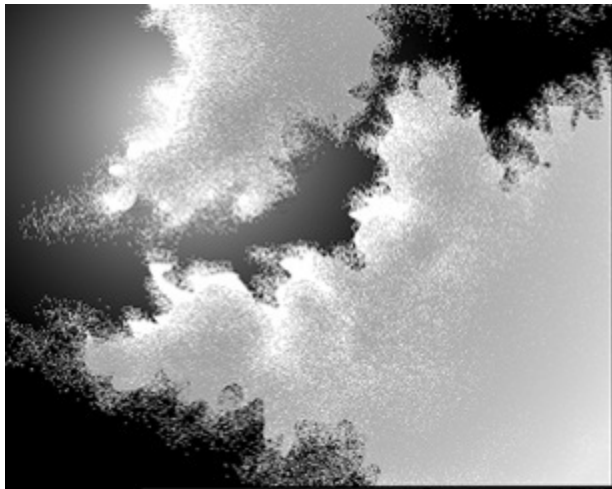


















なにが…
あつたんだよ



別に
なにもねえよ
きのうの夜
俺が風呂から
上がってきたら
こうなって
たんだよ



……のあ……



ネットで調べたら
蜂蜜入りの水が
いいってのが
あったから
やってみただけ
それじゃダメで



さっきコンビニで
妖精用の薬
買ってきたけど

飲んで
くれないんだ!

どうしよう のあ
このままじゃこの子
死んじゃまう!!



「いいわ
ここへ一緒に
埋めて
あげましょ」



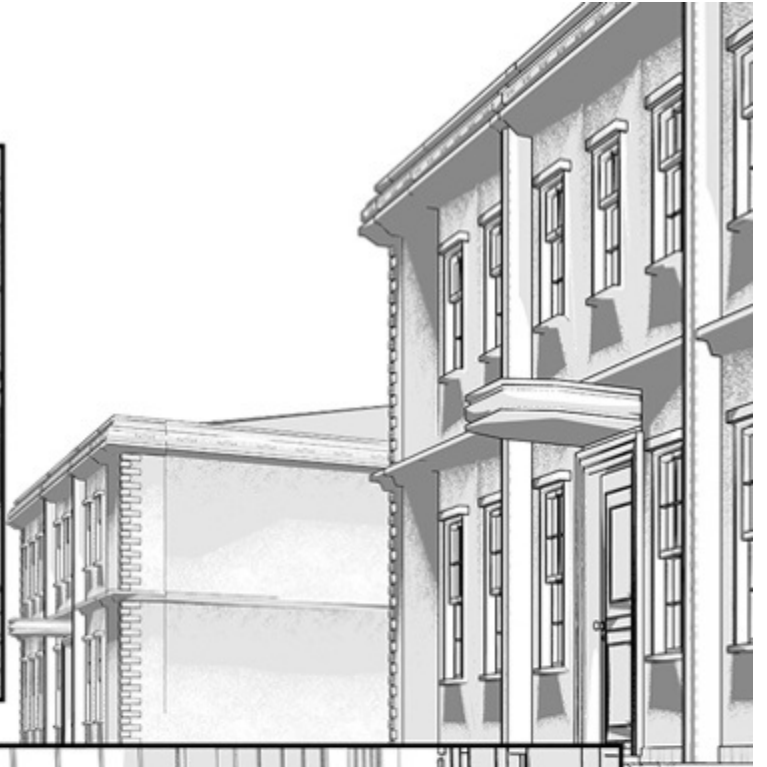
「ここには
この子のお友達も
たくさん居るから
きつと
淋しくありませんわ」



「だけど
またいつか
困ったことが
起きたら」

「そのときは」





また同じことに
なるに決まってる
のに……





———さあ お父様に見つかる前に



のあ……



……!



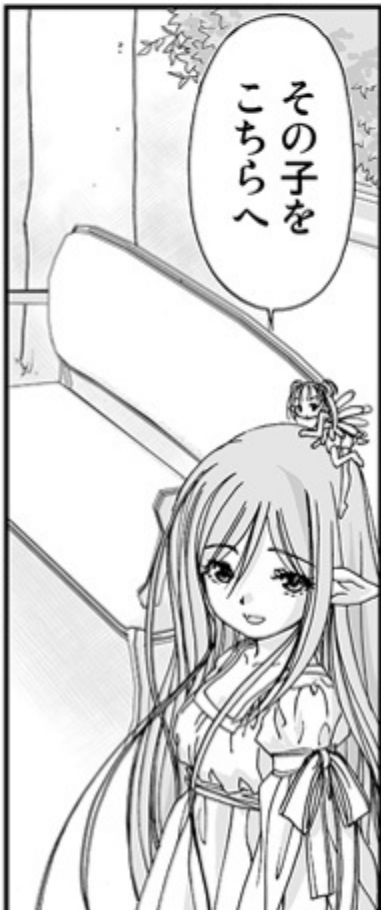
柳沢
こっち!!

え

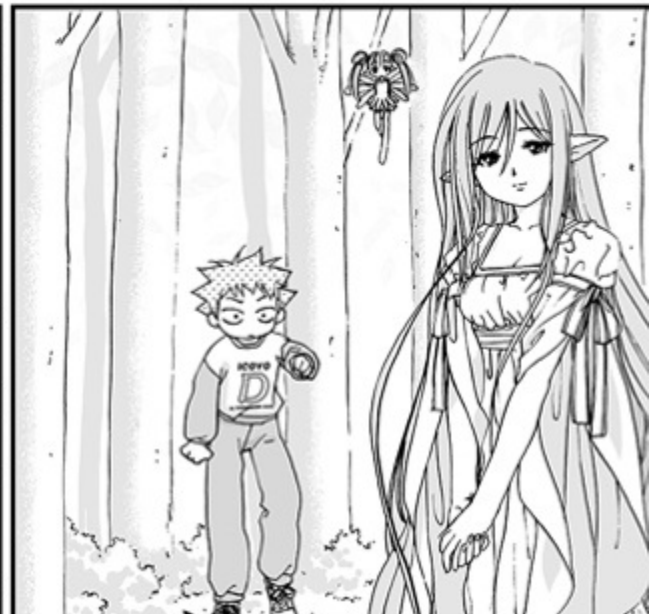


ここからお逃げなさい











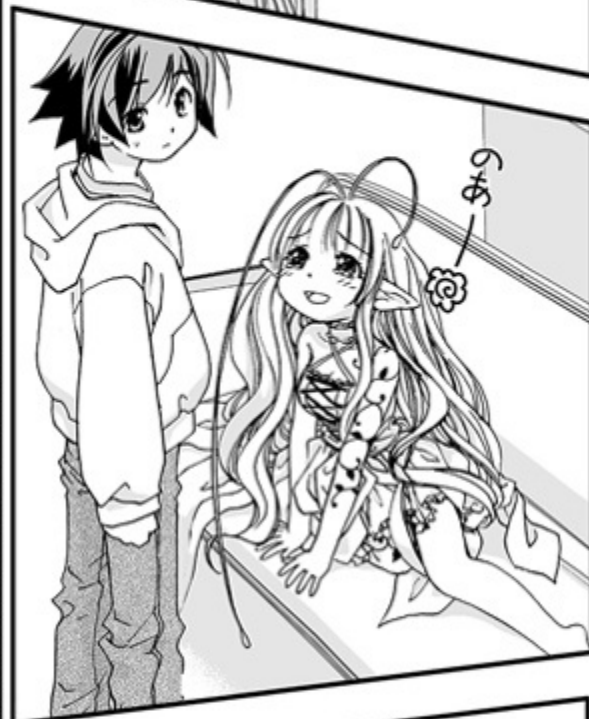
わたしは
人間でも
フェアリアでも
ありません

フェアリアル
ですわ

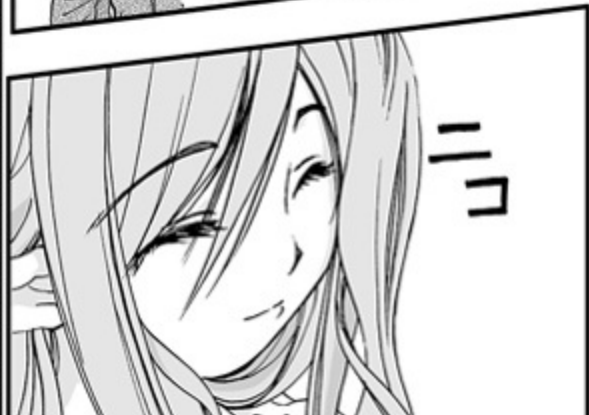


お姉さんは
人間ですか？

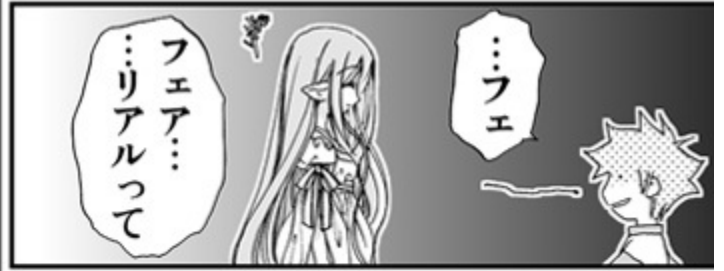
それとも
フェアリア？



の
も



ニ
ム



ぜったい こーかいしないです

フェアリアルガーデン第1話

<http://p.booklog.jp/book/61161>

著者：桜野みねね

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/hinagi934/profile>

ブログ：<http://momofarm.moo.jp/momofive/>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/61161>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/61161>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社ブックログ